



Sea Breeze 91 SEA SIDE Webは【湘南学園同窓会】で検索 <http://sshogak-doso.org/>

日本のサーフィンの歴史は、
湘南学園抜きには語れない
これまでも、これからも、、、



-いつの時代でも、鶴沼の海は教室-
by遠藤大六

1963年、湘南の地で日本で最初の
サーフ・クラブが誕生しました
佐賀亜光さん、佐賀直人さん兄弟を中心に
小島 恂さん、隈川 光さん、隈川治さんの兄弟など
湘南学園に縁の人たちが集まった
”サーフィン・シャークス”というクラブです



佐賀亜光さん

”お巡りさんに、怒られた(笑)”

”サーフィンとの出会いは、僕が湘南学園高校生の頃(1961年)、鵜沼海岸で厚木基地から来た外国人がやっているのを見て、一緒にやらせてもらった。その外国人が、帰り際に、ボードを僕の家に置かせて欲しいというわけ。電車で来ちゃったから家で預かってくれと。そしたら、彼の仲間に話が広がったのか、来る人来る人、皆ボードを預けていくわけさ。一週間もしないうちに十本近くのボードが家に集まっちゃった。”(中略)

”稲村ヶ崎でサーフィンをやり出すと、必ず車が渋滞してしまう。サーフィンが珍しくて車止めて見ちゃうわけ。凄い渋滞になって、パトカーが来て「何危ないことやっているのですか、海から上がりなさい」と、注意された時代だったからね。”と、サーフィン黎明期の思い出を佐賀亜光さんは語ってくれました。

そういえば、1964年春に「平凡パンチ」が創刊された時に「シャークス」の記事と写真が載っていたことを思い出しました。



”サーフィン・シャークス”
後列中央が、佐賀亜光さん

”鵜沼サーフクラブの、誕生!”



鵜沼サーフクラブ

姉が佐賀さんと湘南学園で同級生だったから、鵜沼海岸でシャークスのパラソルに置いてあった佐賀さん達のボードを貸してもらい、僕がサーフィンを始めたのは高校1年生の時。1964年の夏でした。

子供の頃から、板子(現在のボディボード)乗りから、素乗り(ボディサーフィン)をやっていたから、波に乗る感覚は直ぐに掴めました。

1965年に日本サーフィン連盟が設立されることになり、僕の兄・遠藤光一の同級生だった井上岱さん、奥平幸彦さん、大橋英夫さん、榊原敏行さん、佐々木寛さん達と”鵜沼サーフクラブ”を結成。当然、僕もそちらに入りました。同級生の藤井茂君、衣奈丈二君、榊原正禮君もクラブに参加してくれました。湘南学園で2学年下の依田徹郎君、小林正明君、大野薫君、松本久美君、鈴木康仁君、久保田幸博君、桑島淑光君も入って、この年代は多かった。

その下の世代だと、半沢城司君、山本智博君。同級生の中村清一郎君はシャークスへ。

当時、他に湘南学園でサーフィンをやっていたのは、1学年下に出川三千男君、2学年下に川南活君がいたなあ。この二人は、七里ヶ浜をホームグレンデとしてやっていた。



出川三千男君

今回、話を聴くまで知らなかったけど、僕の同級生・横山泰介君も高校時代に由比ヶ浜や材木座で自作のボードでやっていたとのこと。”群れることが嫌いだったから、こっそりやってた!”と語ってくれました。彼は、その後サーフィンをやりながら写真家としての道を究めていきます。

”道具は、すべて手造り”

自分たちでボードを作ったり、母親にトランクスを作ってもらったりしないと、日本ではサーフィンの道具というのは手に入らない時代でした。

ワックスだって家にあったローソクを塗っていた時代だったし…(笑)

1964年頃に、国産のボードが発売されるようになったけど、大卒初任給の3倍くらいの値段!

サーフィンの雑誌だって、アメリカの雑誌”Surfer”を売っていたのは、横浜・元町の高橋書店と銀座のイエナ書店くらいでした。



1968年新島で…。遠藤大六

始めた頃はウェットスーツがなくて、サーフィンが出来るのは5月～9月の初旬まで。

そのうち、先輩達が真鶴のダイビングセンターでウェットスーツをオーダーして、皆で着回していました。

リーシュコードも無く、ワイプアウト(失敗)すると必死でボードを流さないようにしがみついていた。海水浴客にぶついたら大変でしたから…。

とにかく、波があれば海に入る…という毎日でした。

高校3年の夏休みも受験勉強の予定表の1時間目には「体育」と書いて、波があれば1時間ほどサーフィンで体を鍛えていたおかげで、受験の時に風邪をひかなかった(笑)

大学を卒業する頃には、プロのサーファー達も出現するほど日本の社会の中に「サーフィン」が認知されるようになってきました。一方、サーフィンが一般化する中で「やんちゃ」な行動をするものも居て、「サーファー」=悪ガキというイメージもメディアでは取り上げられるようになってきた。

そういう訳で、会社では「隠れキリシタン」のように振る舞っていたことも…(笑)

その後、社会人として仕事に追われまくる”モーレツ”な時代を過ごし、活躍する後輩達を横目に、サーフィンは趣味のひとつになってしまいましたが、日本のサーフィンは発展を続けていった。



1968年千葉の全日本に遠征



大野薫君

”サーフィンも、発展の段階に…”

日本のサーフィンの黎明期に、佐賀亜光さんを筆頭に湘南学園卒業生が果たした役割というのは、単なる趣味としてのサーフィンではなく、「日本サーフィン連盟」として全国のサーファーを組織する母体を作り、サーフィンを”文化”として日本の社会に定着させた功績が一番大きいと思います。

サーフィン・ビジネスの世界でも出川三千男君や大野薫君が先駆的な役割を果たし、川南活君や小林正明君もいまだにシェーパーとして先端的なボードを創りだしている。



川南活君

そして、何よりも現在では当たり前のように言われている「サーフィン=ライフスタイル」というスタイルを創り出したことに意義があると思います。

1970年代に、第一次サーフィン・ブームというのが起こり、1981年には稲村のビッグウェーブに挑む「ナガヌマ・クラシック」で後輩の善家誠君が初代チャンピオンに輝いた。



善家誠君

その「ナガヌマ・クラシック」のポスターの写真が横山泰介君の作品。



稲村のクラシックウェーブ：横山泰介撮影



稲村の帝王、小林”チビ太”正明君

横山泰介君は、その後サーフィン雑誌にとどまらず、創刊を続けたカルチャー誌やCM撮影などにも活動範囲を広げていきました。

サーフィンにとどまらず、世界中の海の男(オーシャンist)達の「肖像」を撮り続けて、今でも現役サーファー&写真家。レジェンドの世代から若い世代までを繋ぐ貴重な存在であり続けているのは同級生として頼もしいし、嬉しい。



横山泰介君



横山泰介君の写真集

“後輩達が、新たな時代を創っている!”

そして、60年以上の時が流れ、日本人サーファーが波乗りの聖地・オアフ島のパイプラインで自分の名前を刻むようになっていた。ハワイの聖地に名前を刻んだ唯一の人物が、湘南学園の出身というのも嬉しいですね。



オアフ島パイプラインで…脇田貴之君

“WAKITA PEAK”で知られる、脇田貴之君がその人。同名のタイトルがついた映画は、2018年に公開され、感動を呼びました。

台風の時にしか、姿を見せない僕の名前がついた”大六ポイント”というのも江ノ島のところがありますが、スケールがまったく違う。(笑)

オリンピックの競技にまで存在感を高めてきたサーフィンですが、今年のパリ・オリンピック予選をはじめ世界のプロ大会で活躍するプロサーファー脇田泰地・紗良兄妹の父親でもあります。



映画監督でもある柘田琢治君

また、映画「Big Wednesday」の舞台ともなったマリブも、カリフォルニアのサーフィンの聖地。

そのマリブに住むロングボードの元日本チャンピオン・柘田琢治君は、奇しくも脇田君と湘南学園で同級生。映画監督、メディアクリエイター、プロロングボードチャンピオンと多彩な顔を持つ。彼が手掛けたドキュメンタリー『BUNKER77』は異端のサーファー、バンカー・スプレックルスの刹那的な生涯を描いた秀作だ。

”僕は鎌倉出身ですが、サーフィンをしない家庭で育ちました。親父は太陽族世代で、ヨットはいいけれどサーフィンは不良のするものだという偏見があったようです(笑)”

彼の息子・雷治君はスイス生まれの15歳。カリフォルニア州マリブ在住で、スケートボードやサーフィンの経歴は既に10年余りでプロ級の腕前。両親の影響でグローバルな感覚を持つ次世代を担うスーパーキッズとして世界から注目される存在でいながらカルチャーを大切にする貴重なコミュニティの中で唯一無二のスタイルを追求している。



オアフ島パイプラインで…栢田琢治君

”さらに、その先に…”

ロングボードといえば、彼らの後輩の吉田泰君、植田梨生君の名も欠かせない。プロとして活躍したのはもちろんのこと、スタイルマスターとして、またシェーパーとしてサーフィンの”正統”の道を歩みつつ、後進の育成にも情熱を注いでいる。



”吉田”チャボ”泰君



植田梨生君

“新たな時代へと、つなぐ・つながる”

そして、この系譜を受け継ぐ現役の湘南学園生がいます。高校3年生の横手倫太郎君。彼は中学生の時からプロテストに挑戦し、海外の試合にも出場するなど、我々の時代からは考えられないキャリアを若くして積んでいる。学業とプロ活動の両立は大変なことだと思うけど、頑張っで欲しい。“プロとして順位を競い合うより、自分のスタイルを求めてサーフィンを続けて行きたい”と自分の理想を語ってくれました。波と対話をしながら、波と一体となったサーフィンを目指していくようですね。



横手倫太郎君



横手倫太郎君

海は、色々なことを教えてくれます。自然と一体となる時、地球のエネルギーを感じ、自分が小さな存在であることを教えてくれる。他人と波を分け合うことの大切さ、海の中では謙虚であることがベスト。なによりも、海だけでなく地球を汚さないことなどなど…。

湘南の海を舞台に日本のサーフィン文化を創り出し、つないで来たのは湘南学園の教育で育まれた好奇心、チャレンジスピリット、センス、そして恵まれた家庭環境だと思えます。このように、世代を超えて「つなぐ・つながる」を実践してきた湘南学園のOB達。すでに故人となられた方々も居ますが、昔の事を思い出しながら書き綴ってみました。

遠藤大六 高校1967年卒 15回生
幼・小・中・高と湘南学園で学ぶ。
その後、広告会社でCM制作、著作権管理などを担当。
退職後は、「晴海雨読」の日々を過ごす。

*Congratulations!
20th anniversary!!*



成人の日

～二十歳の集い～



湘南学園
後援会Instagram
にて写真を公開中です。
是非ご覧ください



2024年1月8日に
「第83期卒業生成人の集い」が
カフェテリアにて華やかに催行されました。
参加者は過去最高の160余名となり、
元総務委員を中心にイベントが準備され、後援会・同窓会・PTA・
教職員・カフェテリアの協力のもと4年ぶりに軽食もふるまわれ、楽しい時間となりました。



新成人になった卒業生にインタビュー



瀧川理紗子

たきかわりさこ

学習院大学法学部法学科
小中高 / 茶道部
総務委員長

現在大学では、社会の諸問題を法律に基づいて合理的に解決するための勉強をしています。勉強を進めるにつれ、湘南学園で学び、得たものがそこに繋がっていると実感することがよくあります。学園では日常的に話し合いが行われ、どんなことでもそれぞれの意見を確認するところから始めていました。そのなかで、目的を達成するために大切なのは自分の主張を通すことではなく、対立する人も協力して最善策を見つけることだと学びました。この考えは、法律の勉強にとどまらず、これから私の根底にあり続けるものだと感じています。将来は、湘南学園で身につけた考えと大学で学んだ法律の知識を活かして、民事紛争解決に携わる仕事をしたいと考えています。



小林園三

こばやしえんぞう

青山学院大学
国際政治経済学部
中高 / 陸上部

大学では国際政治学を学びながら、日本とは異なる文化の中で生活しているたくさんの人々と交流をしたいと思い、興味のある言語やその言語が使われている地域の文化なども学んでいます。興味関心に沿って未知のものに挑戦する楽しさは日々の行動原理の大切な要素であると感じていますし、それが自分の可能性を広げてくれるような気がします。今思い返すと6年間の学園生活のおかげで、積極性や主体性においてかなり成長することができたと感じています。他の学校よりも比較的自由に明るい雰囲気の学園からは、自身のアイデンティティ形成も良い影響を受けました。将来の明確なゴールは定まっていますが、興味関心事に取り組みながら挑戦を続けたいです。そして社会人になっても常に「一生」のスケールで物事を考え、死ぬまでに自分の価値観の中で後悔が残らないよう努めたいです。



宮川陽花

みやかわはるか

明治学院大学
文学部英文学科
小中高 / 総務委員
フラダンス

私は小さい頃からフラダンスを習っています。フラダンスから私は沢山の学びを得ています。仲間の大切さや何か一つのことをみんなで作り上げることへの楽しさ、そして舞台上に立った時に見える見に来てくれた方々の笑顔がくれる喜び。毎週みんなで踊りの練習をするのがとても楽しく現在も学業、バイト、大学で行なっている委員会と共にフラの練習に励んでいます。また、私は現在大学の文化祭実行委員会に所属しておりここでは学園で培った総務委員会の経験を活かして活動に励んでいます。今年が大学3年生になるので、委員会のトップとして活動していきます。後輩や同期と共に素晴らしい文化祭を作りたと思っています。



佐々木呼子

ささきこ

慶應義塾大学
文学部人文社会学科
中高 / 陸上部

私は、中高時代は今も「せっかくやるなら楽しむ」ことを大事にしています。これは「楽しいことしかやらない」とは少し違います。生活している中であまり楽しくはないかもと感じる事でもやらなければいけないことは多々あるかと思えます。例えば、宿題や課題など..笑。けれど「楽しくないからやらない」というのは少し勿体ないと私は思っております。ですので、私は「せっかくやるなら楽しもう」という気持ちで取り組んでみると意外と楽しめるものだと思って日々取り組んでおります。今後も楽しくなさそうだけどもやらねばならないことが私の前に多く立ちだかると感じています。けれども、どんな時も「せっかくやるなら楽しむ」という気持ちを大事にしていきたいと思っています。



渡邊脩友

わたなべしゅうすけ

東海大学
政治経済学部経済学科
中高 / 総務委員
サッカー部

湘南学園での柔軟性に富んだ授業のおかげで、私は現在、大学内プロジェクトで貴重な経験をする事ができています。具体的に、SDGs達成に近づけることを目的としたプロジェクトに参加しており、その中で学生が主体となり、実践的な学習や社会問題解決に向けて企業や大学教授、行政などと協力した活動などをして自身の学びを深める事ができています。こういった経験ができていながらも授業を通して学びの視野を広げてくれた学園での授業が私の中では大きいと思います。中高一貫だからできる学びや中学・高校生だから教わる事ができることがたくさんあるはずです。日々の学びを大切にすることがこの先の人生に役立つものになっていくことなのでしょう。



加藤暉久

かとうてるひさ

東京都市大学理工学部
原子力安全工学科
小中高 / 学園祭実行委員
サッカー部

高校時代の生徒会活動では、学園祭実行委員会の会計係を務め、チームワークや目標達成の重要性を学びました。特に高校2年生の時は、コロナ禍で制約も多い中、意見が対立することがありましたが、共通の信念を持ちながら話し合いを重ね、新しい形の学園祭を作り上げることができました。これは自分たちが力を合わせて目指した成果であり、大きな学びとなりました。父の影響も大きく、放射線技術に興味を持ち、放射線技術を医療に活かす仕事に就くことを目指しています。福島第一原子力発電所の事故以降、放射線技術に対するイメージは否定的なものが強くなりましたが、放射線医療への応用を研究し、安全性を重視しながら多くの命を救う仕事に貢献したいと考えています。

湘南学園卒業生の

\人気の/

お店

KUGENUMA SHIMIZU

テラスモール湘南店フードコート
GINZA SIX店
ジ アウトレット湘南平塚店

にて出店中

しみず

清水ひとみ 幼小中高 1996年卒 43回生
〒251-0038 藤沢市鵜沼松が岡3-4-18
TEL 0466-53-5707



幼稚園から高校までの14年間
学園生活を楽しませて頂きました。高校卒業時に小、中、高通して
の皆勤賞を頂いた記憶があります。
それほどまでに毎日学校に通うことが
楽しかったのだと思います(笑)
昔は幼稚園生から高校生まで一堂に会する行事などもあり今で
も受け継がれている総合学園ならではの縦のつながりは
素晴らしい伝統だと感じます。
学園の良いところは男女分け隔てなく仲が良く大人になっても連
絡を取り合い学生当時と変わらない会話を楽しめること。

また、先生方も長くいらっしゃるため節目で学園を訪れると笑顔
で迎えて下さり帰って来る場所があると安心して顔を出すこと
ができることです。

現在は保護者として学園に携わり学園卒の保護者の方々と再会
して懐かしく語り合うこともでき娘とも学園歌を歌ったりタイムス
リップしたような楽しさがあります。
数年前には夫がサッカー部のコーチを務めさせて頂いたりとお縁
も頂き私の人生の中において学園は大きな存在となっています。
学園には温かい先生方がいらして個性を尊重し合う仲間がいる。
時代は変化してもそんな古くから伝わる伝統=学園らしさを
守り続け、益々の発展を願っております。

帝国ホテル仕込みのシェフ(夫)が考案する和
と洋を融合したスイーツをコンセプトにお料理
のエッセンスを組み込んだ
甘さを引き立てる絶妙な塩加減で
"くせになる美味しさ"と大人気の湘南"塩"みる
くソフトクリーム



湘南大漁焼、湘南もなかは
ふじさわ観光名産品指定銘
菓となっております。



学園カフェテリア隣の本店
完全予約制レストランは
コース料理をお召し上がり頂
けます。同窓会の方々には大
変お世話になっております。

KUGENUMA SHIMIZU



HPはこちらの
QRコードから

ガラス彫刻ガラス造形ステンドグラスマイスター
ONE&ONLYを目指して



いわさき はやと
岩崎 勇人 高 1975年卒 23回生
三浦郡葉山町木古庭1557-4
TEL 046-878-6340



デザインが好きで、グラフィックの仕事に就きましたが、平面より立体のものづくりの世界の方が好きかな、と氷彫刻家に弟子入りしました。毎日やめたい厳しい修行が終わり、この世界でやっていこう、と決意した矢先に師が急死し、エネルギーが無くなりながらもガラス彫刻に携われ、修行後工房を構えました。

仕事は、国内外の建築商業空間にガラス彫刻、ガラス造形、ステンドグラスなどの制作です。

早いもので、ガラスの世界に携わって40年経ちましたが、守破離はまだまだ難しいです。

そして初心である、生涯一職人でいられれば、と思っています。

【学園生活の思い出】

感受性が豊かな時期に、音楽、映画、アート、スポーツ、情報などのカルチャーを教えてくれた仲間たちと、価値のある喜怒哀楽の日々を過ごせました。それと比例して、自分の無力さを俯瞰できたことが感謝です。

それは、その後の生き方の時間軸の大きな部分になりました。そして今でもあの頃のままでの気持ちで集えることが、素敵です。「我が憂いに君は泣き、君の喜びに我は舞う」ですよ。

【思い出の先生 3年間担任の藤巻先生】

【部活 水泳部】



HPはこちらのQRコードから

【制作実績】

東京駅新ドーム
羽田、成田空港
トヨタアムラックス
SONY JAXA
岡本太郎記念館
徳川美術館
ディズニーランド
ハワイ・
モアナサーフライダー
マリOTT沖縄
ドトールコーヒー
叙々苑
赤坂離宮等、他多数

【受賞歴】

全国氷彫刻展最優秀賞
文部大臣賞
ルミネデザイン賞
ソルトレイクオリンピックIceArt
日本代表
英国王立日本美術展
ウィーン平和日本の美術展
フランスアートラヴィサント
グランプリ
ルーブル美術館展アルチスト
ブリリアント認定
日光東照宮 芸術の虎美術展
康寧工房認定等他多数

祝

湘南学園創立 90 周年



～つなぐ・つながる～

2023 年 11 月 19 日

記念行事ご報告

記念行事のイベントでは多くの同窓生にご参加、ご活躍いただきました



90周年記念誌表紙 絵本作家
佐々木貴行氏 高43回生



卒業生の受付で同級生
同士が久しぶりの出会
いに感激



清水誠氏の指揮により
重厚な響きで記念式典
が幕開け



学園の吹奏楽部にOB
OGも加わり素晴らし
い合奏を披露



永嶺謙忠氏（中8回生）
日本学士委員賞受賞を
祝い学園より花束贈呈



鈴木健次氏（中1回生）
の来賓ご挨拶



梅村正毅氏（高9回生）
に学園より感謝状贈呈



加賀美公一氏（小29回生）
に学園より感謝状
贈呈



梅村氏による
乾杯のご挨拶



カフェテリアの祝賀会
では世代を超えて同窓
生が語り合う

湘南音楽院藤沢の
みなさんによる演奏



三浦恒義さん（高14回
生）のトークライブ



大久保龍さん（高19回生）
宮手健雄さん（高23回生）
青木海里君（中学3年）



フラ日本1位の青木海
里君（中学3年）と
青木花歩さん&
新倉音羽さん（小学4年）



宮手健雄さんの歌と振
りに合わせてアリーナ
全体が一つになる



締めくくりは三浦恒義
さんの先導で90周年記
念ソングを全員で合唱



ラップ高島潤君・奈良
脇大也君（中学3年）で
中高ホールミュージック
イベントがスタート



バイオリン秦野陽介さ
ん（幼稚園卒）



ジャズピアノ鈴木美香
さん（幼稚園卒）



ピアノ江夏真里奈さん
（中57回生）



ソプラノ栗山晃子さん
（中45回生）



来場者と一緒ふるさと
を歌いました。





90周年記念行事への参加協力ありがとうございました

宮手健雄（テミヤン）さん & 青木海里君



宮手健雄（テミヤン）さん

久々に訪れた学園、色々様変わりしていましたが、生徒の皆さんと一緒に歌ったり、踊ったりとおおらかな校風は変わらず、懐かしさを感じました。

当日共演でも息ピッタリのパフォーマンスを披露してくれました！



青木海里君（中学3年）

湘南学園90周年記念行事に参加させていただいてとても光栄でした！そして、僕が赤ちゃんの時からお世話になっていたテミヤンさんが卒業生と知らずびっくりしました。共演できて嬉しかったとともに僕と湘南学園との「つながり」を感じました。ぜひ「100周年記念式典イベント」にも参加させて頂けたら嬉しいです！「100年目の未来へ！湘南学園」ありがとうございました。

江夏真理奈さん

中学時代の懐かしい学園記憶が蘇り、とても有意義な時間でした。湘南学園にご縁のある先生方とのアンサンブルもすごく楽しかったです。ご来場いただきありがとうございました。

華やかで素晴らしい曲を披露していただきました！

青山男子さん

懐かしい学園の90周年に音楽で戻る事ができ、とても嬉しかったです！

卒業生の湘南音楽院藤沢講師の皆様と秦野さん



中高ダンス部の皆さん

綱島伶菜さん（高校3年）

普段とは違ったステージとなり緊張しましたが、たくさんの拍手をいただき湘南学園に関わる方々の温かさが直接伝わって楽しんで踊ることができました。90周年という節目のイベントに参加させていただき嬉しく思う気持ちや、お祝いの気持ちをダンスを通して伝えられたそんなステージになっていればいいと思います。

バワフルなダンスは観客の皆さんを癒していました！



ラップの高島潤君・奈良脇大也君

高島潤君（中学3年）

この度は90周年のお祝いにラップのライブに出演させていただきありがとうございました。僕の音楽活動の中で一つの目標が学校でラップを披露することでした。初めて人前でライブが90周年という大切なイベントで光栄でした。また機会があればぜひお願いします。

級友の応援で会場は大盛り上がりでした！



湘南学園創立 90 周年記念ソング

おぼえているかい？

作詞・作曲・歌 / 三浦恒義

E Eaug
おぼえているかい？
E6 E7 F#m7 A B7sus4 B7
キミの合図で はじまる あのメロディー
C#m7 B7 G#m7 C#7
キャンプファイアの 火を 囲んで
F#m7 B7 E F#m7 / B7
手をつないだ フォークダンス

E Eaug
忘れられないよ
E6 E7 F#m7 A B7sus4 B7
ふたりで叫び つづけた あのスタジアム
C#m7 B7 G#m7 C#7
弾けるリズムに ハート 溶かして
F#m7 B7 E E7
肩を揺らす ロックコンサート

A G#7 C#m7 F#7
もういちど 時を戻して
D B7 E / Eaug E7
振りかえる 思い出の タイムカプセル
A G#7 C#m7 F#7
もしも未来に つながるなら
A6 B7 C#m7 * / * B7 * / *
どこまでも 歩いていくよ

おぼえているかい？
夏の日差しを 浴びるテラスで おいしい？って聞く
いつかキミに 夢を 語った
あの海辺の 白いレストラン

もういちど 時を戻して
振りかえる あの夏へ タイムトラベル
もしも未来に つながるなら
どこまでも 歩いていくよ
どこまでも 歩いていくよ



～記念ソングを作って歌った三浦恒義さん～

高校 1966 年卒 14 回生

最初に学園の中許竜宏先生から相談があり、てっきり創立記念イベントについて何か意見を求められるものと思っていたのです。ところがオリジナルソングを作りたいとの依頼。音楽をやる卒業生にとって、これほど嬉しい相談ってないですよ。ボクは通学していた頃の湘南学園を思い出しながら楽しく曲を作り上げることができました。

以前、アマチュアバンドをやりながら夢中で曲を作っていた頃、渡辺貞夫がボクの譜面をみたいと言ったとか、大瀧詠一がボクの歌を聴いて腰を抜かしたとか、そんな都市伝説も生まれたらしい。そんな風にみんなに語り継がれる 90 周年記念ソングになるといいなあ～。



～記念ソングの映像を作った遠藤大六さん～

高校 1967 年卒 15 回生



さあ、
三浦さんと遠藤さんが
作った記念ソングの
歌と映像を
ここから観ましょう

同窓会を開催しました



小学校27回生同窓会 2023年5月27日
開催場所：藤沢3+3カフェ



卒業アルバム動画



思い出写真動画



高校19回生創立90周年記念同窓会
2023年11月19日
開催場所：ポルトヴィーノ

ワインプレゼント

同窓会を開催しませんか？



同窓会をお知らせいただいた
集まりには開催お祝いに紅白ワインを
お届けしています。
また、同窓会ホームページでも同窓会の
写真を掲載して同窓会に参加出来なかつた
方にも楽しんでいただいています。



高校17回生同窓会 2022年11月2日
開催場所：寒川神社 参集殿

還暦同窓会

高校S53年卒業 還暦同窓会 鎌倉プリンスホテル



2023年5月27日
還暦を迎える節目に
65名の参加がありました。
各クラス幹事選出を
前年4月にし、準備を重ねて
の開催でした。

Thank You

FOR YOUR SUPPORT

2023年度は90周年記念行事への協賛など
同窓生から多くのご協力をいただきました。

主な寄付、ご協力をいただいた方への感謝を込めてお名前を掲載させていただきます。

同窓会施設への寄付

前場靖弘様 同窓会室入り口ブリーツ網戸設置

中山好子様 (旧姓峰島) PC 設備購入金



90周年記念行事・ホームカミングデイ

90周年記念モニュメント寄贈 森陽子様

ボランティア出演 秦野陽介様 鈴木美香様 江夏真理奈様

栗山晃子様 三浦恒義様 宮手健雄様

イベントサポート 小林春代様 大平美樹様 杉浦義樹様 柳町卓様

吉寄徳司様 土屋淳子様 (旧姓笠原)

90周年記念誌寄稿 中山好子様 (旧姓峰島) 國井博子様 梅村正毅様

協賛広告協力 有賀誠様 (アリガ動物病院) 岩崎智子様 (宝製菓)

猪俣成人様 (株)西洋コンサルティング) 木村貢様 (孔文社)

小泉光哉様 (相模石油株) 鈴木聡行様 (鈴木歯科)

星谷雄太様 (星谷歯科) 前場靖弘様 (Zen 建築事務所)

山口東吾様 (山口歯科) 湯浅裕一様 (紀の国屋本店)

長年同窓会室の換気と蚊の侵入に悩まされてきましたが解消することができました！

学校行事

児玉ひろ様 製品販売協力

木村貢様 (孔文社) 記録写真撮影協力



Web 納入寄付

猪熊清彦様 樋口佳久様 山根加奈代様

郵便局・銀行振込み寄付

相原元八郎様 宇佐原康晴様 木村貢様 小泉光一郎様 斎藤海晴様

中山義章様 野崎孝子様 渡辺啓子様 (旧姓峰島)

糸山英太郎様 (来園時)

90周年記念モニュメント
「もう一つの地球」

湘南学園記録写真データ寄贈

鈴木哲夫様 (学園創成期～近年まで) CD66 枚に収蔵

大森裕子様 (旧姓大沼) (小学校 1942 卒初代の幼稚園生)

アルバム写真寄贈

依田亜由美様 (旧姓大森) よりご持参いただきました。



大森様前列左3人目



前列左3人目

その他にも多くの同窓生の皆様に様々なご協力をいただいております、改めて感謝申し上げます。

同窓生全員が会員です、是非ご参加ください

2024年度「同窓会 定期総会」のご案内

■日 時：2024年6月22日(土)
10時～12時

■場 所：湘南学園 3F大会議室

SEASIDEにて総会のご案内は全同窓生にお届けしています。SEASIDEが届いていない場合は下記事務局までお問合せください。また住所や氏名等、情報変更は同窓会HPの専用フォーム（<https://shogak-doso.org/contact-address/>）よりご連絡をお願いします。皆さまお誘い合わせのうえ、多くの同窓生のご出席をお待ちしています。

議題

第1号 議案2023年度 活動報告（案）
第2号 議案2024年度 活動計画（案）
第3号 議案常任幹事人事承認の件

○総会終了後、学年幹事会を開催します

※開催予定に変更（延期等）がある場合は同窓会HPにてお知らせいたします



新年度の年会費納入に ご協力をお願いします

従来の郵便局振込に加え、
同窓会HPから
クレジット決済が可能に！

日頃から同窓会活動にご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございます。
同窓会事務局の運営は皆さまから納めていただいた年会費で運営されています。
学園や同窓生への貢献のため、お1人でも多くの方からの会費納入をお待ちしています。

同窓会HPから
納入可能！



◀各種クレジットカード
・ ApplePay
・ GooglePay

会費の用途：

SEASIDEの発行、学園教育基金へ寄付、卒業生記念品贈呈、学園行事協賛に活用しています！

～ 会費の種類 ～

- ・ 年会費(毎年払)： 2,000円
- ・ 5年一括払い： 10,000円
- ・ 終身会費（一括）
66～70歳の方： 20,000円
71歳以上の方： 10,000円

*重複納入等は寄付とさせていただきます

～ 会費の納入方法 ～

- 1) 郵便局振込
SEASIDE同封の振込票をご利用ください
- 2) 銀行振込
横浜銀行 鶴沼支店（普通預金）
口座番号 0063210
口座名義 湘南学園同窓会
- 3) 同窓会HPから納入

学園
人事

理事長：岩武学
学園長：住田昌治
(兼:同窓会名誉会長)

中 高校長：伊藤真哉
小学校校長：岩淵和信
幼稚園園長：姫野貴美子

事務局長：青木斉子
PTA会長：江利川ちひろ

<敬称略>



SEASIDE 湘南学園同窓会報
VOL.30 2024/6

発行 湘南学園同窓会
〒251-8505 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32
学校法人 湘南学園内
TEL & FAX 0466-29-3669